

三原の事をとことん研究



市民団体「ミハラボ」  
代表 おだち ゆういちろう 大立 雄一郎さん

「半どん夜市の名前の由来は「やっさ節を英語で歌うとどうなるの」など、自分たちが興味を持った「三原のなげ」について研究し、知ってもらおうと活動しているのは市民団体「ミハラボ」の皆さんです。その代表を務めるのがウェブデザイナーの大立雄一郎さん。「まち全体が僕らの学び場」と笑顔で話します。

大学卒業後に一度三原を離れた大立さんは16年前に帰郷。職場と家を往復する毎日を送っていましたが、「もっと新しい人と出会って自分の世界を広げたい」と考え、市内で開催されるイベントなどに出向くようになりました。転職となったのは、ミハラボ主催の「まちづくり」に関するイベントに参加したことです。メンバーや講師の話聞き、「ここで活動すれば新しい世界が開けるかもしれない」とミハラボで活動することを決めました。メンバーになってからは、仲間と共にさまざまな「なげ」について研究。「三原がだるまのまちと呼ばれるようになったのはなぜか」というテーマの時には、地域の人から話を聞いたり、三原だるまの作り方を習ったりするなどして、みんなでレポートにまとめ、ホームページで公開しました。



▲神明だるまの格納場所を訪れるメンバーたち



▲フェイスブックの2次元コード

人から話を聞き、困っている事を疑似体験して、より住みよいまちにするための案をまとめようとしています。これまで活動に参加した人たちからは「普段の生活では気付かないことに気付いて面白かった」「三原という『まち』に興味を持った」となどと反響がありました。「ミハラボに入って、多くの人と知り合えたことで自分の世界が変わった」と大立さん。これからもメンバーと一緒に三原の研究を続け、発信していこうと意気込みます。

※このコーナーでは、まちをもっと元気にしようと頑張っている人や団体を紹介します。

<b>三原市の人口</b> (1月31日現在)	
※外国人住民を含む。	
※( )内は前年同月との比較。	
世帯数	43,678 世帯 (-22)
人口	93,035 人 (-1,214)
男	44,749 人 (-435)
女	48,286 人 (-779)
人口移動の詳細については	
広島県 人口移動 月報	で 検索

<b>夜間収納・証明書交付業務の窓口を延長しています</b>	
時	毎週木曜日19時まで
因	住民票・戸籍・印鑑登録証明書の発行、パスポートの交付、市税の納付、納税相談
問	市民課 ☎0848-67-6047)、 税制収納課 ☎0848-67-6035)
<b>航空機の騒音測定結果(1月分)(Lden)</b>	
▶正広局(本郷町善入寺正広)	=51.9
▶本郷局(本郷町船木川西上)	=53.4

今月の表紙 \ クローズアップ! /

てらまち三原の花×祭り・テラハナ 01



今月の表紙は、お寺と花をテーマにしたイベント「てらまち三原の花×祭り・テラハナ 01」の会場で撮影した1枚です。同イベントは県内全域で行われる全国都市緑化フェア「ひろしまはなのわ 2020」のスポットイベントの1つで、三原神明市の期間中に極楽寺(東町三丁目)で開催しました。境内に飾られた色とりどりの花が来場者たちを楽しませました。(関連6ページ)

あ・と・が・き

**最近、特によく聞くAI(人工知能)。**与えられた情報をもとに、推論・判断する機能を備えたコンピューターといわれています。人口減少で人材確保が難しい業種はAI技術の進歩に期待を寄せているそうです。▼私も車の運転が楽になればと思う反面、人間の存在感が薄れることは寂しく感じます。いつか、私の好きな言葉が「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬはAIの為さぬなりけり」に変わる日が来てしまうのでしょうか(N)